

### 第3章 都市づくりの実現に向けて



## 第3章 都市づくりの実現に向けて

都市計画マスタープランを推進するためには、住民・事業者・行政などの協働による都市づくりの推進、都市計画制度の活用と整備の優先性、実現に向けた仕組みづくり、社会経済情勢の変化に対応した進行管理と計画の見直しが必要となります。

これらを推進することにより、本町の将来像に掲げる「魅力を活かし みんなでつくる 元気なあしや」の実現を目指します。

### 3-1 協働による都市づくりの推進

都市づくりは、社会経済情勢の変化や住民ニーズに柔軟に対応しつつ、住民・事業者・行政などが適切な役割と責任を果たしながら、互いに協力し、力をあわせて進めていく、協働による取り組みが重要となります。

このため、都市づくりに関する情報の提供や自主的な都市づくり活動への支援、住民参加の推進などの取り組みを進めます。

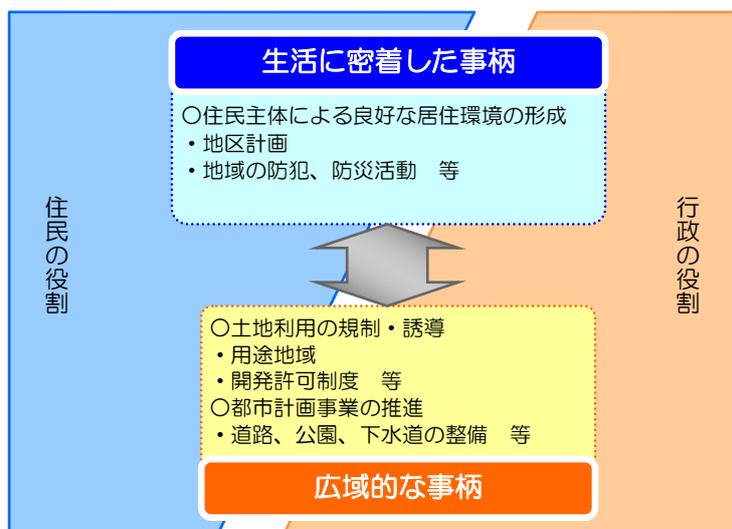
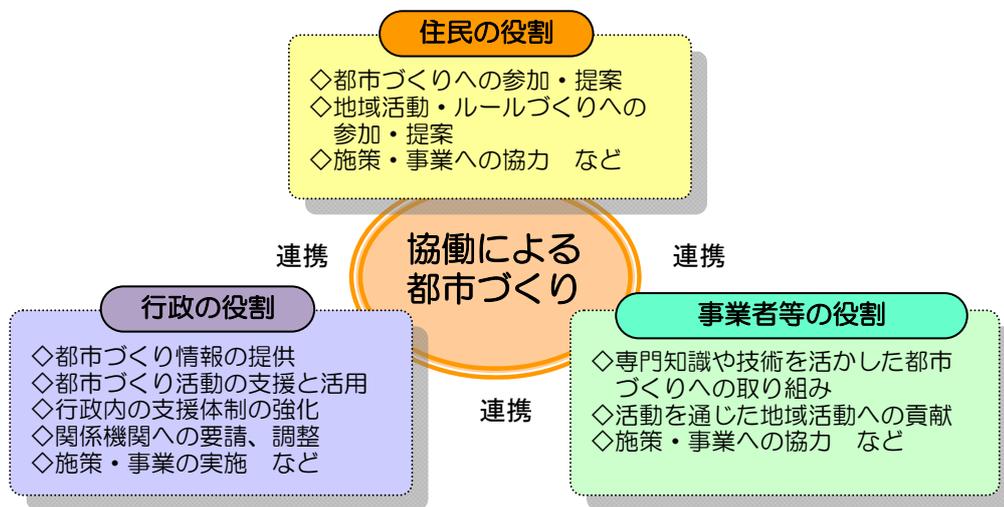


図 協働による都市づくりのイメージ

## 3-2 効果的・効率的な都市づくりの推進

### 1. 都市整備に関する個別計画の推進

都市計画マスタープランは、都市づくりに関する目標や基本的な方針を示すものです。今後、この方針に沿って実現化を図るため、公共施設等総合管理計画、公共交通網形成計画、環境基本計画など、必要となる個別計画の見直しや策定を行います。また、事業の実施を進めるとともに、用途地域や都市計画道路等の都市計画の決定や変更への取り組みを進めます。

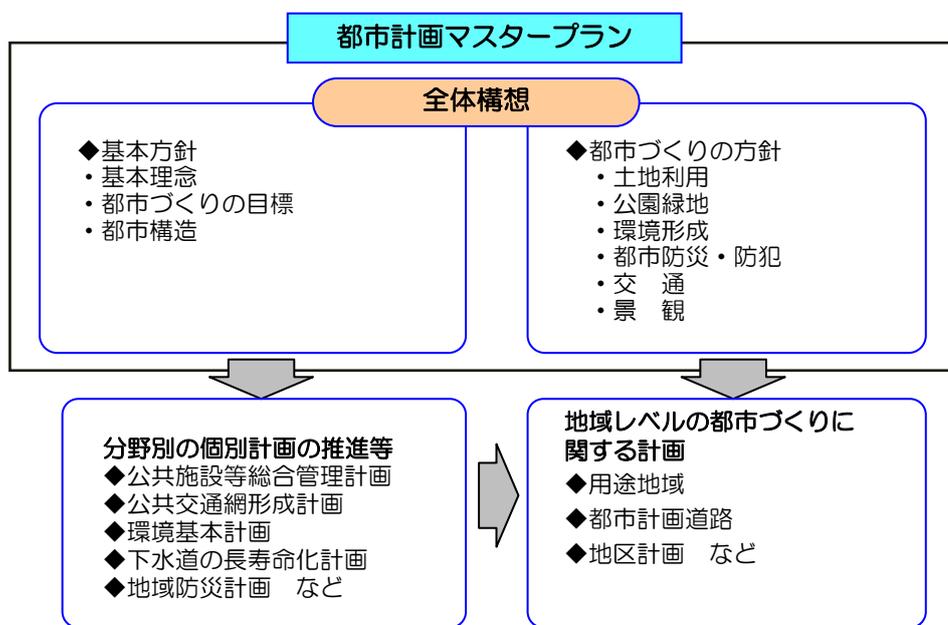


図 都市計画に関する個別計画の推進イメージ

### 2. 都市計画制度の活用と整備の優先性

都市計画マスタープランで示した方針や施策の実施は、限られた財源の中でより効果が得られるように、計画の実現性や事業の優先性、緊急性、都市整備上の効果など総合的に判断して進めます。

具体的には、国や県の各種事業と連携しつつ、都市施設の整備（都市計画道路、公園緑地、下水道等）、用途地域等の都市計画制度や事業を推進し、社会経済情勢などを踏まえた整備の推進と見直しに努め、実現性のある効果的な都市づくりを目指します。

### 3. 都市づくりの推進体制の充実

#### (1) 都市づくりの環境づくり

都市づくりを進めていくためには、都市づくりに参加しやすい環境づくりや人材の育成などが重要です。生涯学習講座の充実やこれからの芦屋町を担う児童・生徒への都市づくり教育の取り組みとともに、協働による都市づくりの醸成に向けた環境づくりと人材の育成による基盤づくりを進めます。

#### (2) 都市づくりの推進および支援体制の整備

都市計画マスタープランの施策や都市施設などの整備にあたっては、都市づくりに係わる部門や関係機関との調整と効率的な取り組みが必要であるため、推進体制の強化を図ります。

また、地域の実情にあった都市づくりの実現に向けては、住民との協働が不可欠であり、必要な

情報の提供や適切な支援に努めます。

### (3) 民間活力の導入

公共施設の整備や市街地における住宅供給、商業施設の充実などは、効率的な財政運営の観点から、民間企業のノウハウや資本などを活用し、民間活力の導入を検討します。

## 3-3 適切な進行管理と都市計画マスタープランの見直し

### (1) 適正な進行管理

都市計画マスタープランと関連する個別計画（Plan）に基づき、各種制度や事業を活用して計画を実施（Do）し、その成果や効果进行评估・検証（Check）します。さらに、必要に応じて見直し・改善（Act）を行い、次の計画（Plan）へとつなげていく、PDCA サイクルの取り組みによる適切な進行管理を行っていきます。

### (2) 都市計画マスタープランの見直し

都市計画マスタープランは、長期的な見通しを持って継続的に取り組むものであるため、その間には、都市づくりの進捗状況や社会経済情勢の変化も予想されます。このため、本計画では 20 年間の長期の計画期間を設定していますが、関連する諸計画や社会情勢などの変化が生じた際は、計画期間内でも必要に応じて計画の見直しを行います。

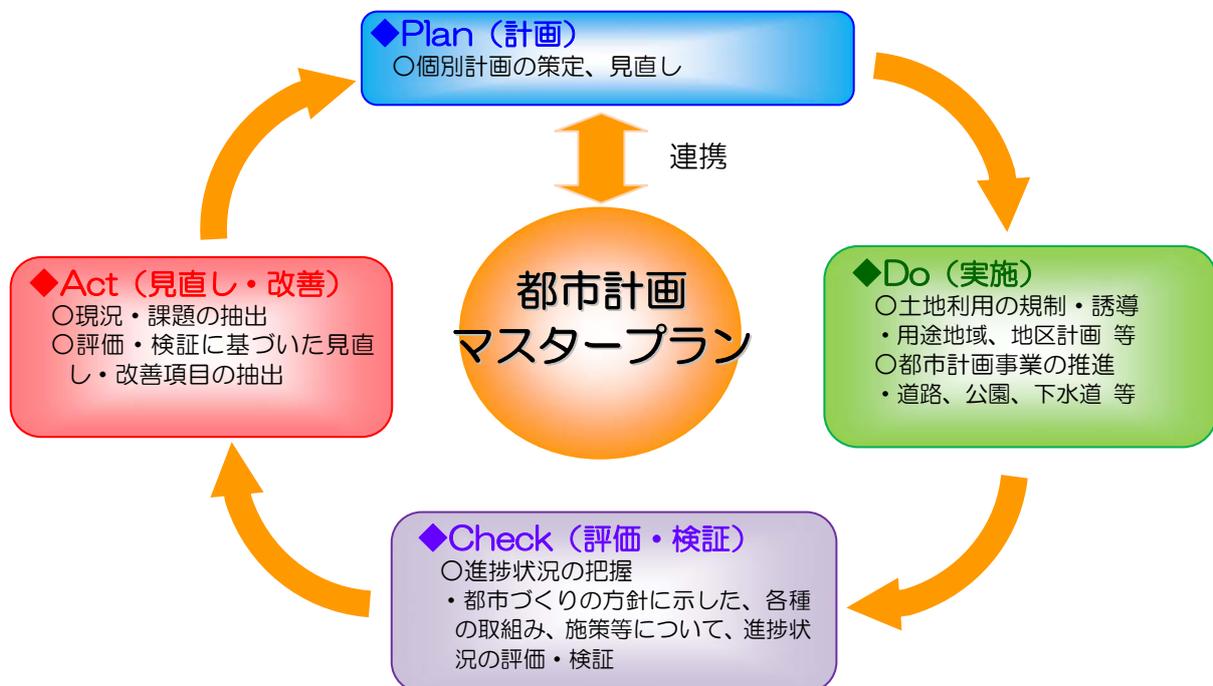


図 計画の進行管理イメージ

